

恵小広報たより

pta news letter

2026/02/19

今年度も、各学年でレクリエーション活動が行われました。実施時期はそれぞれ異なりますが、どの学年も、にぎやかなひとときとなったようです。

今号では、そのひとときを支えてくださった学年委員長さんより、取り組みの様子をご紹介します。



学年委員長より "レクリエーション" 活動報告

6月から11月にかけて、各学年・各クラスにてレクリエーションを行いました。

今年度も授業時間内の1時間、体育館での開催という条件の中、学年委員会ではレク協力の皆さまと連携しながら、子どもたちが安心して楽しめる内容を考え、準備を進めました。

当日は、ドッジボールや風船運びリレー、〇×クイズなど体を動かす種目を取り入れ、子どもたちの年齢や人数、親子の交流が自然に生まれるよう、各学年の委員さんが趣向を凝らして企画してくださいました。

どのクラス・学年も、保護者の参加率が大変高く、当日も積極的にご参加いただいたと聞いています。体育館に

は子どもたちの笑顔と歓声があふれ、親子の距離がいつもよりぐっと近くに感じられたのではないのでしょうか。

参加された方からは、自宅や参観日の子どもたちとはまた違った表情を見ることができたこと、多忙な毎日の中で親子の貴重な時間を持てたことを嬉しく思うという感想も寄せられています。

企画運営をしてくださった学年委員・レク協力の皆さま、ご参加いただいた保護者の皆さま、そしてご理解とご協力を賜りました先生方に、心より感謝申し上げます。



Pickup! 学年委員会

学年委員会は、子ども・保護者・教職員の親睦を深めることを目的に、各クラスまたは学年単位で行うレクリエーションの企画・運営を行っています。

レク協力の方々と連携しながら、学年の特色に合わせた内容を検討し、円滑な実施に向けた調整を行っています。

また、学校の空き教室を活用した茶話会などを通して、保護者同士が交流できる機会づくりにも取り組んでいます。



あたたかな想いと豊かな知恵で、未来を育てる



年々、参加と前向きな意見が増えていくことが何よりうれしいです。

学年委員長・竹内さん



社会の流れとして、PTA活動や学校行事は年々減少し、簡素化が進んでいます。私たち保護者が子どもだった頃にあった風習や親交の形も大きく変化し、保護者間や子ども同士のコミュニケーションも、電子的なやりとりが中心となりつつあります。

そのことが私たちの生活を豊かに、便利にしていることは事実です。それでも、実際に会って表情を見ながら会話を交わし、触れ合うことは、人間形成の過程で大切なものだと感じています。

体を動かしたり、大好きな親や友達、先生と同じ方向を向いて何かに取り組んだりすること。会話をして、大きな声で笑い合うこと。五感を刺激するような活動は、子どもたちの成長にとってかけがえのない時間となります。

その大切な機会の一つとして、たった1時間ではありますが、子どもたちや保護者にとって学年・学級レクが大切な活動になればと切に願い、今後も継続していきたいと強く思います。



編集後記

たった1時間ですが、なんだか慌ただしい日常の中で、誰にとっても貴重な1時間だと思います。

学年委員長は、その大切な1時間をどう有意義なものにするか考え、19クラス分の状況を細やかに整理し、役員会で思考を巡らせながら施策を提案してくださっています。各クラス委員さんも、定期的に行われる運営委員会に参加し、意見交換を行っています。

準備してくださったこの時間がより実りあるものとなるように、ほんの少し声をかけ合いながら、少しでも多く笑顔が生まれる時間にできれば。それはきっと、同じ場所で顔を合わせるからこそ生まれる何かを、私たちにもたらしてくれるのではないのでしょうか。